

平成 2 5 年度
第 5 回 柏市健康福祉審議会
地域健康福祉専門分科会

会 議 資 料

本 編

平成 2 6 年 2 月 1 3 日

柏市保健福祉部

柏市健康福祉審議会 地域健康福祉専門分科会 委員名簿

氏名	よみ	所属など
阿部 和子	アベ カズコ	大妻女子大学教授
今村 貴彦	イマムラ タカヒコ	柏歯科医師会会長
川眞田喜代子	カワマタ キヨコ	淑徳大学教授
小竹 恵子	コタケ ケイコ	前社会福祉法人柏市社会福祉協議会副会長
小林 正之	コバヤシ マサユキ	柏市立介護老人保健施設はみんぐ施設長
清水 栄司	シミズ エイジ	千葉大学大学院教授
長瀬 慈村	ナガセ ジソン	柏市医師会副会長
中谷 茂章	ナカタニ シゲアキ	社会福祉法人柏市社会福祉協議会会長
中村 佳弘	ナカムラ ヨシヒロ	柏市薬剤師会会長
藤田 武志	フジタ タケシ	松葉町地域ふるさと協議会相談役 (前柏市ふるさと協議会連合会会長)
古川 隆史	フルカワ タカフミ	柏市議会議員
水野 治太郎	ミズノ ジタロウ	麗澤大学名誉教授

目 次

1	計画策定に係る関連会議等の開催状況について・・・・・・・・・・	1
2	パブリックコメントの結果について・・・・・・・・・・	2
3	第3期計画の構成案について・・・・・・・・・・	9
4	本日、ご協議いただく事項・・・・・・・・・・	10
5	第3期柏市地域健康福祉計画について（答申）案・・・・・・・・	12

1 計画策定に係る関連会議等の開催状況について

■ 策定に係る関連会議等の開催予定

	審議会	庁内WG	市民WS	パブリック コメント
6月		7日 WG①		
7月	4日 分科会①	10日 WG② 19日 WG③	6日 WS①	
8月	1日 分科会②		31日 WS②	
9月		3日 WG④	14日 WS③	
10月	3日 分科会③		5日 WS④ 19日 WS⑤	
11月	28日 分科会④	1日 WG⑤		
12月				12/15 ～ 1/15
平成26年 1月		21日 WG⑥		
2月	13日 分科会⑤ 20日 全体会			
3月				

2 パブリックコメントの結果について

■パブリックコメントについて

1 目的

計画を策定するに当たり、市民の意見を盛り込んだ計画を策定するため、広く意見を募集するもの

2 実施期間

平成25年12月15日（日）から平成26年1月15日（水）まで

3 パブリックコメント実施の周知方法

- (1) 広報かしわ（平成25年12月15日号）
- (2) 市ホームページ
- (3) 保健福祉総務課（市役所別館2階）、行政資料室（市役所本庁舎1階）、行政資料コーナー（沼南庁舎1階）、各近隣センターへの配架
- (4) 市社協ボランティアセンター掲示
- (5) 市立保育園掲示
- (6) こどもルーム掲示
- (7) くるみ幼稚園及び北柏駅前保育園わらびの保護者配布
- (8) 健康福祉サービス向上員配布
- (9) 柏市民生委員児童委員協議会会長会議配布
- (10) 市社協策定委員会配布

4 計画（素案）の閲覧及び配布場所

「3(2)及び(3)」

5 意見の提出方法

・意見（自由様式）と住所・氏名・年齢を記入し、郵便、市ホームページの入力ホーム又はファックスにより提出

5 意見の提出結果

2人（各1通 24項目）

6 計画（素案）に対する意見の概要と市の考え方

意見 番号	意見の概要	市の考え方
1	<p>この計画を推進していくためには町会や自治会といった地縁組織（場合によっては柏市社協とか包括支援センター、NPO団体等を含め）が、目的を持った活動を通して地域の住民の連帯感を構築していくことが必要であり、計画に記されている「地域が動きやすい仕組みをつくる」ことが非常に重要である。</p> <p>仕組みづくりの1つとして、町会・自治会等に情報伝達の要として動いてもらうことも良いと思う。</p>	<p>本計画においては、住民同士が共に助け合い、支え合う「共助」に特に力を入れており、御指摘のとおり、地域が動きやすい仕組みづくりは最も重要な点であると考えております。</p> <p>御提案のありました、町会・自治会等に情報伝達の役割を担っていただくという点も含めまして、地域の実情に応じた、地域福祉の充実のための動きやすい仕組みづくりを進めていきたいと考えております。</p>
2	<p>この計画は、「やること」が多すぎるため、果たして全部できるのか心配である。</p>	<p>内容によって、すぐにできることもあれば、時間を要することもあります。できることから進めていくことで、少しずつ地域福祉の向上が図られていけばと考えております。</p>
3	<p>「計画」は具体的な施策を挙げるものではないのでしょうか。それとも、これからなののでしょうか。重点施策内の指標も書かれていないので、施策についてのコメントは必要ないという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>本計画は主に理念の提示や方向性を定めることが主たる役割であり、具体的な施策については、高齢者や障害者、児童のそれぞれの分野別計画等が本計画と理念を共有しながら展開してまいります。このことは、計画案2ページに書いてあるとおりです。また、地域福祉の向上に向けて市民や地域と取り組む具体的な内容については、柏市社会福祉協議会が策定する「地域健康福祉活動計画」において、位置付けていくこととなります。</p>
4	<p>・ p 66, 67 (1) 計画の推進と評価が後に来ると、重点施策にある「④進捗管理」が分かりにくいです。重点施策の前にこのページがあった方がいいのでは？あるいは、書き方を工夫するなどの方法を検討されてはいかがでしょうか。</p>	<p>御指摘を踏まえ、57ページの重点施策の説明文中に、進捗管理及び評価の考え方は次の章に記載のあることを加筆いたしました。</p>
5	<p>また、「定性的指標」「定量的指標」とは何でしょうか。「確認数値」「評価数値」も、よくわかりません。お役所言葉でしょうか？確認数値がふたつ表になっているところと、確認数値と評価数値が挙げられているところがありますが、その違いもわかりません。</p>	<p>「定性的指標」及び「定量的指標」に加え「確認数値」及び「評価数値」の説明を、計画案69ページに加筆いたしました。なお、計画素案67ページの「進行管理」は「進捗管理」のことであり、修正いたしました。</p>

	<p>重点施策のページには「進捗管理」と書いてありますが、p 67の②には「進行管理」とあります。同じもの？ それとも違うもの？</p>	
6	<p>・一文が長くて読みにくいです。たとえば、 「この計画を策定しているのは、社会福祉法の中で地域福祉の推進を図る中核として位置付けられている社会福祉法人である社会福祉協議会です。」これは、何回か読まないという意味の取れない文ですが、このようなものがあちこちにあります。たとえばこの文は「この計画を策定しているのは、社会福祉協議会です。」とし、社会福祉協議会については別に解説したほうが良いと思います。</p>	<p>御指摘を踏まえ、一文が長い文章については、適宜修正いたしました。</p>
7	<p>・ページによって、急に字が大きくなったり小さくなったりするのですが、その意図がよくわかりません。特にp 20, 21はページレイアウト上のバランスが悪いほど字が小さく、すぐ次のp 23はびっくりするくらい字が大きい。</p>	<p>大項目、中項目、小項目、本文等それぞれにおいて、字の大きさを統一して記載しております。</p>
8	<p>・横文字が多いと思います。「ゲートキーパー」「ゴール」「スタンス」「ソーシャルネットワークサービス」「ツール」「ノーマライゼーション」などなど。言いかえが難しいものもあるとは思いますが、何も単語でなくてもいいと思います。特に「ソーシャルネットワークサービス」は、FacebookやTwitterよりさらに難しい言葉のような気がします。 「人どうしの交流が目的の、インターネットを利用したサービス」？</p> <p>・専門用語はぜひ索引をつけて解説をお願いします。文中に解説があってもいいですが、解説を付けた語は、どこに解説があるかわかるようにしてほしいです。もし言葉の意味を説明するならば、その言葉が最初に出た時をお願いします。また、同じデザインにしてほしいです（お姉さんがよければお姉さんにずっと担当させてください）。 たとえば「ゲートキーパー」は初出</p>	<p>御指摘を踏まえ、わかりづらい言葉については、112ページ以降に「6用語解説」として用語の説明を加えました。</p> <p>また、説明に当たりましては、発出箇所において、説明を記載しました。</p>

	は p 8だと思いますが、言葉の説明は p 40です。	
9	<p>・総論，各論「柱」から重点施策へのつながりがよくわかりません。基本方針も4つ，重点施策も4つなら関連があると思うのが普通ですが，「〇〇だから」という，この施策を選んだ理由の部分はどこにあるのでしょうか？ ①の「現状」であって p 5～7の柏市の状況や， p 20～52の各論の部分ではなさそうです。①の「現状」は日本全体の現状で，それが柏市の施策にどうつながるのか？ ワークショップやアンケートはどこで関係してくるのか？ もし各論で出てきた問題をもとに重点施策を決めたのだったら，それがわかるように書いてほしいです。</p>	<p>本計画の計画期間は5か年であり，その間の理念や方向性について，総論や各論の柱に定めているところです。</p> <p>重点施策は，地域福祉全般の中で重点的に取り組むべき事項，現代的な課題であって，喫緊に取り組むべき事項，高齢者や障害者，児童等，異なる対象者に対して横断的に取り組むべき事項などについて，単年度ごとに目標を設定し，進捗管理及び評価を行いながら，課題の解決に取り組んでいこうとするものです。従いまして，基本方針と重点施策との間には関連はありません。</p> <p>なお，このことは，目次の次ページに，「この計画書の見方」というページを設け，説明を加えました。</p>
10	<p>・「コラム」と「お姉さん（吹き出しのセリフのある人）」の違いがよくわかりません。このコラムは私のイメージする物とかなりかけ離れている気がします。たとえば P42の「豊四季台の取り組み」は，「超高齢社会に対応していくため，就労（社会参加），在宅医療を含む地域包括ケア，住まい・まちづくり（居住環境）を一体的に進めていくプロジェクトです。」これはコラムでしょうか？ タイトルが「取り組み」で，本文を読んでも「取り組みがある」以上の情報は何もないので，あっても無くてもいい記述ですね。「一体的に」進めている取り組みがあることを言いたいだけなら，何も「コラム」などと言わなくてもいいと思います。</p> <p>・「コラム」は目次に加えてほしいです。本来そのような扱いのものが「コラム」なのではないでしょうか。</p>	<p>御指摘を踏まえ，「コラム」欄は主にトピック等を，「お姉さん（吹き出しのセリフのある人）」欄は主に内容の簡単な補足等に整理いたします。</p> <p>このことは，目次の次ページに，「この計画書の見方」というページを設け，説明を加えました。</p> <p>あわせて，目次にコラムを加えました。</p>
11	・所どころ赤字のままの部分があります。「。」（複数），「ともに」（p 49）など。	赤字部分を修正いたしました。
12	p 1 本文9行目「目的型組織」何かわかりません。説明か，もしくは言い換えをお願いします。	御指摘を踏まえ，115ページの用語解説に説明を加えました。なお，1ページ目本文9行目については，言い

		換えをいたしました。
13	p6 状況の中に、「広報かしわ」を読んでいる人（新聞折り込みで読んでいる人），市からのメールを受信している人の数もあったら更にもっといいと思います。 どのくらいの人に，市からの情報が届いているのか？ 読んでいるかどうかは別としても，その数を市は把握しているのではないのでしょうか。	計画案7ページに，市の情報に対する市民の実感について，「(4) 市民の声」に加筆いたしました。
14	p9「市民ワークショップ」の1行目「身勝手な人」この表現は，変えた方がいいと思います。ワークショップで出た意見だから，そのまま載せているのでしょうか？ あとに「等」とあるので，「隣近所の付き合いを拒否する人等」でもいいのではないのでしょうか。	御指摘のとおり，表現を修正いたしました（計画案9ページ）。
15	また，p9「課題」の下から4行目「対象の特性」は何のことかわかりません。「対象」とは？	「対象の特性」とは，高齢者や障害者，子育て世代などを表現したところですが，御指摘を踏まえ，「年代などそれぞれの状況」に表現を修正いたしました（計画案9ページ）。
16	p11「(4) その人らしく生きるために」の「市民ワークショップ」にある「この柱」はどの柱？ 「この」だけでわかるのではないのでしょうか。	御指摘のとおり，「この」に表現を修正いたしました（計画案11ページ）。
17	p12「既存施設や制度の活用といったソフト面の充実が必要」の下の方，イラストで文字が隠れています。	イラストの位置を修正いたしました（計画案12ページ）。
18	p15「(2) 地域が動きやすい仕組みをつくる」の4行目，「従来からの」は「従来の」が正しいのでは？	御指摘のとおり，修正いたしました（計画案15ページ）。
19	p19イラスト？（自助・共助・公助との関係の部分） 右の「主な機関」の文が指示線とずれています。	御指摘のとおり，修正いたしました（計画案19ページ）。
20	p32①意識啓発・福祉教育の充実の最後の行 「充実します」→「充実させます」	実施主体が市にあることから，素案のとおりといたしました（計画案32ページ）。
21	p59 ④進捗管理 定量的指標…相談件数とありますが，相談件数が多くなったらいいということでしょうか？ なぜそれが「進捗管理」になるのか，はこれから書かれるのでしょうか？ 虐待件数は増えた方がいいのか，減った方がいいのかもわかりません。家の中に隠れているより	計画案69ページに記載のとおり，重点施策の進捗管理は毎年度実施します。進捗管理を行う際に指標となる数値の評価方法は，毎年，年度当初に実施目標を定める際にあわせて考えていきます。

	も、外に現れてくる方がいいということになると思います。	
22	p61④進捗管理 評価数値の「保護率」とは何のことでしょうか？	保護率とは、生活保護を受給している被保護人員の割合で、千分率で表したものになります。なお、御指摘を踏まえ、用語の説明を加えました（計画案115ページ）。
23	p 68チャート内「目線」この言葉は別の表現はないのでしょうか？「からの」ではダメですか？「目線」はあまりいい言葉ではないと思います。公の文書にはふさわしくないと思います。	目線という言葉は、一般的に使われるようになってきているものの、ふさわしくないという御意見もあることから、表現に配慮し、御指摘のとおり、言い換え等により修正いたしました（計画案70ページほか）。
24	p 68これだけたくさんお姉さんが出てきているのに、それに「コラム」もあるのに、「柏市健康福祉審議会」の説明がないのはおかしいと思います。	御指摘を踏まえ、「各界各層の市民や有識者からなる」という説明文を加筆いたしました（計画案70ページ）。また、あわせて、計画案76ページ以下に柏市健康福祉審議会条例を掲載いたしました。

3 第3期計画（案）について

■第3期計画（案）

第1章 総論

第1節 計画の策定に当たって

- 1 計画策定の背景
- 2 計画の位置付け
- 3 計画の期間

第2節 地域健康福祉を取り巻く状況

- 1 柏市の状況
- 2 第2期計画の評価と課題
- 3 第2期計画評価の総括と第3期計画の方向性

第3節 基本的な考え方

- 1 地域健康福祉像
- 2 計画推進の重要な視点
- 3 計画を進める上での仕組み
- 4 基本方針

第2章 各論

- 柱1 みんなで支え合う地域づくり
- 柱2 情報が共有され相談しやすい地域づくり
- 柱3 健やかに暮らせる地域づくり
- 柱4 安全安心に暮らせる地域づくり

第3章 重点施策

第4章 計画の推進・評価体制

資料編

第1回検討事項

昨年度協議済み

第1回検討事項

第2回検討事項

第3回検討事項

第4回検討事項

第5回検討事項

4 本日、ご協議いただく事項

1 「第3期 柏市地域健康福祉計画（案）」について

別添資料1

①前回の審議会の議題と、いただいた主なご意見等は、次のとおりです。

議題	主な意見
市民ワークショップの結果について	<ul style="list-style-type: none"> 市民ワークショップの結果をみると、町会への期待感が強い。町会側の意識、町会に対する住民の期待の伝え方、町会自体の改革が問われている 今後、市民ワークショップを開催する場合、若い世代が集まる工夫をすべき
柱1から柱4の修正について	<ul style="list-style-type: none"> 柱の4本はいずれも「地域の役割」、「担い手の役割」が厚い。誰が取り組み、お金はどうするのか、具体的にイメージを持ち丁寧に議論をしていくべき 子育て世代は地域に期待せず、自分でやり、できないところを市にやってもらいたい。高齢者は市にやってもらいたいという意識が強い。計画上の市民、地域、市の役割と実際の市民のニーズとが一致していないのではないか 行政は限界に近づいている。地域に任せたいが地域は崩壊しているといわれており、うまくいくか疑問である
重点施策について	<ul style="list-style-type: none"> 社会的孤立に関し、言葉の定義を記載すべき 社会的孤立に関し、民生委員が高齢者を、健康づくり推進員が乳幼児を対象としているが、その中間の把握が難しい 新たな担い手に関し、NPOで補完するという市の想定と市民の自発性が適合しているか疑問である
計画の推進・評価体制について	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会がこの計画に沿った活動計画をトップダウンで策定するとともに、各地区で地区社協がボトムアップで地区別計画を策定し、両面から地域に密着した計画を作っている 計画を推進していくためにリーフレットのようなものを作って、より多くの人に配布されたい 計画の中で市の事業展開が欠けている分野がある。それを明らかにすることで、欠けている分野に取り組もうとする人が出てくる可能性もある

- ②いただいたご意見等及びパブリックコメントのご意見を踏まえ、修正を行いました。
- ③また、あわせまして、新たに資料編を作成しました。

以上の修正及び資料編に掲載しているデータ等につきまして、ご意見、ご提案等ありましたら、お願いします（修正等の箇所については、赤字で記しています。）。

2 「概要版」について

別添資料2

- ・ 本計画を住民の方に活用いただけるよう、内容を簡潔にまとめた概要版を作成しました。
見やすさ、わかりやすさといった点から、ご意見等いただけますようお願いいたします。

3 その他

- ・ 本日、ご審議いただいた内容をもとに修正等を行った上で、平成26年2月20日（木）に開催予定の柏市健康福祉審議会全体会にて答申を行うことを予定しています。

案

平成26年2月20日

柏市長 秋山浩保様

柏市健康福祉審議会

会長 水野治太郎

第3期柏市地域健康福祉計画について（答申）

平成25年5月16日付けで諮問のありました第3期柏市地域健康福祉計画について、本審議会では慎重に審議した結果、別添案を答申します。

なお、計画の推進等にあたっては、本審議会の意見などを十分に尊重し、地域健康福祉の充実に向け、本計画の実現に取り組まれるよう、要望します。

